

長堀抽水所雨水滞水池での 爆発事故の発生について

地元説明会資料
令和 6 年 1 0 月 4 日

※雨水滞水池とは

雨水滞水池は、雨の降り始めに汚れを多く含む雨水を一時的に貯留することで、河川へ流れ出る汚れを減らすことを目的とした施設です。

長堀(抽)雨水滞水池での爆発事故の発生について

● 事 故 概 要

- (1) 発生日時 : 2024年9月12日(木) 12時10分頃
- (2) 発生場所 : 長堀抽水所 雨水滞水池西側建屋内
(令和4年度供用開始)
- (3) 事故状況 : 場内のマンホールに臭気対策を施し、排水ポンプを起動したところ、西側建屋内で爆発
- (4) 被害状況 :
 - ・ 人的被害 4名(いずれも軽症)
本市職員1名、包括事業受託者2名、受注者1名
 - ・ 物的被害 近隣マンションの窓などの破損、車両の破損
(24件 10/3現在)
- (5) 対応状況 : 可燃性ガス濃度を下げるため送風機による換気
滞水池内における脱臭設備を経由した換気
滞水池内貯留水の排水

長堀(抽)雨水滞水池での爆発事故の発生について

周辺位置図



長堀(抽)雨水滞水池での爆発事故の発生について

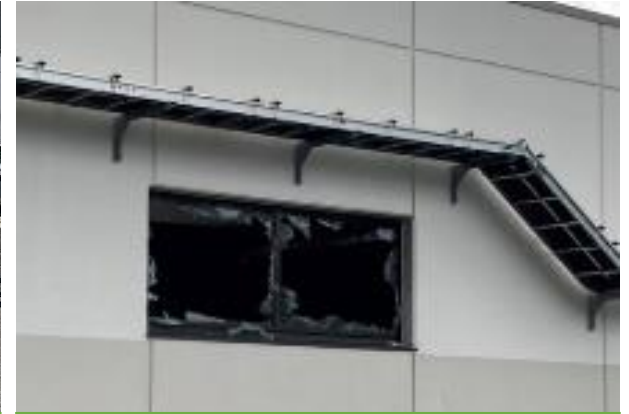
【被害状況について】



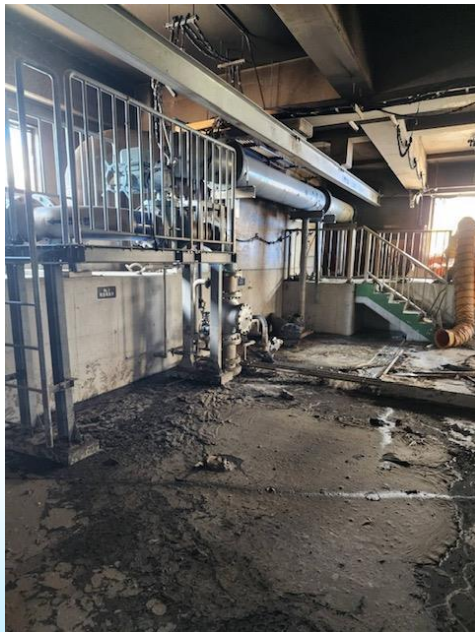
西側建屋北面の状況



西側建屋西面の状況



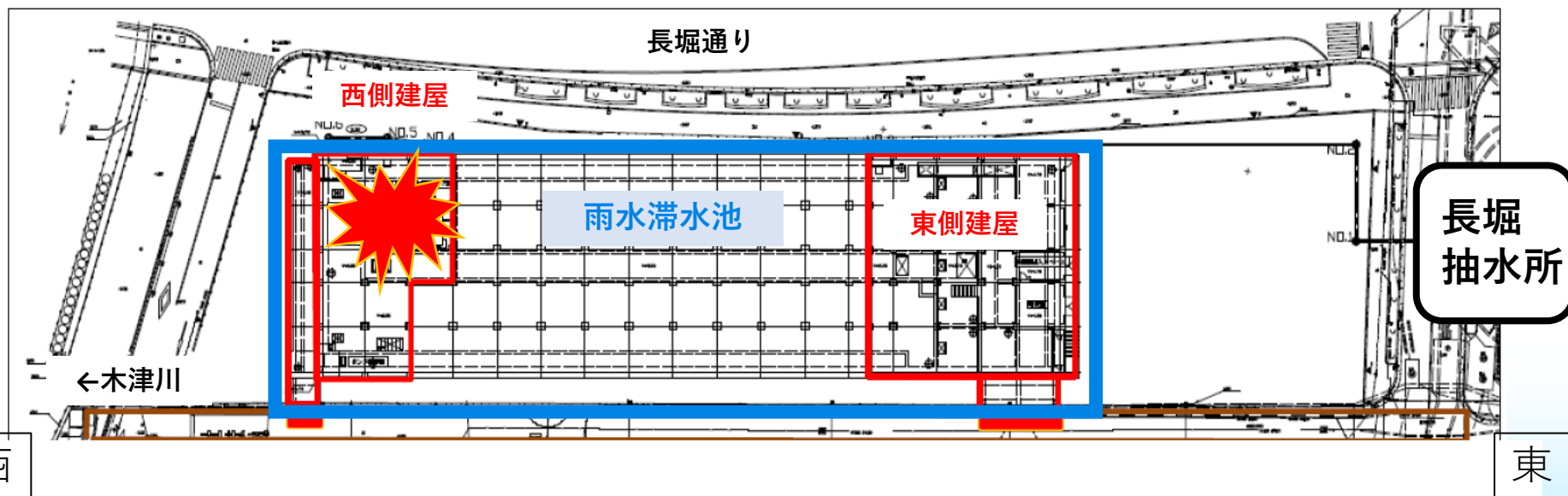
西側建屋東面の状況



西側建屋内の状況

長堀(抽)雨水滞水池での爆発事故の発生について

- 爆発原因 : 雨水滞水池の中で発生したガスが西側建屋内に滞留し、排水ポンプを起動させた際に可燃性ガスに引火したものと推定しています。【調査中】
- 当面の対応 : 送風機による換気を継続して実施し、再爆発が発生しないよう安全に管理しながら、雨水滞水池内の貯留水について排水作業を実施しました。
- 現状 : 滞水池における脱臭設備を経由した換気を行いながら、雨水滞水池内の貯留水について、今後の調査や対策を実施するため、排水作業を引き続き実施しています。
現在、建屋内において可燃性ガスは検知されていません。
- 今後の見通し : 事故の原因究明を徹底して行い、外部有識者にもご意見を伺いながら、要因分析をもとに再発防止策を取りまとめます。
- 処理状況 : 通常の下水处理及び浸水対策に影響はありません。



長堀(抽) 雨水滞水池断面図(現状)

